

NPO法人

第85号

# 芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578  
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール [mail@ashiyasu.com](mailto:mail@ashiyasu.com)

## 2024 開山祭&広河原園地自然観察会

2024年6月22日 芦安ファンクラブ 小沢哲也

6月22日(土) 広河原において、南アルプスに夏山シーズンの到来を告げる「開山祭」が行われました。今年は南アルプスがユネスコエコパークに登録されて10周年。金丸市長が「自然と共生したまちづくり」にふれたのをはじめ、多くの関係者が出席し、山の安全を祈願しました。

恒例である芦安小中学校の児童生徒による「北岳の歌」「雪山賛歌」の合唱がイベントに花を添え、夜叉神太鼓のBGMで登場した山案内衆の「蔓払いの儀式」でクライマックスとなりました。

コロナ禍以降ご無沙汰となる「甲斐ヶ峰庵」のそばが復活しました。長蛇の列。それはもう、おいしゅうございました。

同日午後、芦安小中学校児童生徒を対象にした「園地学習」も行われました。ハイキングをしながら園地の植物を観察。堀内・西村の両ガイドの「コケイラン」等の解説をすると、児童生徒が食い入るように観察していました。

園地の中間地点で清水会長による「木こり体験」。

会長の斧打ちのすざまじい切れ込み。怖さと楽しさの共存。中村儀助という偉大なきこりにふれ、昔話の世界を現実に体験したことに目を輝かせていました。

ラストは「モール人形額縁アート」写真撮影会。モールでコピトを作り、木やコケに乗せ、白い額縁で撮影する。児童生徒たちはカメラを構え、それが「海でサーフィン」「絶壁でクライミング」等々、想像力を膨らませ、その柔軟な発想にビックリ。私はもののけ姫の“こだま”に見えました。



### 感想

開山祭は、昔からやっていることがわかった。自然学習の時は、オオルリの声も聞けたし、木こり体験もできて良かったです。次は、5・6年生で登山に行くので、安全に行きたいです。  
(5年生)

開山祭では、「北だけの歌」「雪山賛歌」を、声を大きくはっきりと歌うことができて良かったです。自然学習では、初めて斧を使ったので、木こりの人がどんなに大変かが分かって良かったです。お蕎麦が、温かくておいしかったです。  
(5年生)



# 芦安小学校白根御池小屋自然体験教室

2024年7月4-5日 芦安ファンクラブ 小沢哲也

芦安小学校児童9名、教師3名、看護師1名を芦安ファンクラブの3名でガイドしました。

## 1日目

懸念された天候も安定し、7:00に小学校を出発。8:10には全員がヘルメットを着用して広河原をスタートしました。

尾根道に取り付くとまもなく「先生、あとどれくらい?」「まだ?」の声がしました。しかし、声とは裏腹に、第1ベンチまで全員余裕でした。神社跡のいわれを学習した後、11:25白根御池小屋に到着しました。児童たちは疲れ知らず。入所式では大矢さんが英語でウェルカムスピーチ。あいさつ程度ではありませんよーっ!日本語一切なし児童も驚いていました。昼食は各自持参の弁当。13:00小屋の蛸原さんが御池の生物ガイドをしてくれました。そのあと草すべりにて植物観察。オコジョにも遭遇しました。

実は同日、小屋の「荷揚げ」作業があり、小屋のスタッフは大忙し。にもかかわらず、ヘリコプターの作業見学までさせていただき、児童たちはラッキーでした。夕食前に生物・植物の復習、食後には「花かるた」をして就寝しました。ちなみに夕食には富士桜ポークを使用した生姜焼き。地産地消は小屋のこだわり。

## 2日目

ゆっくりと朝食を済ませ、8:00に二俣へ出発。よく晴れ、少し汗ばむころ二俣に到着。安全を確保した半径1.5mの雪渓体験と川遊びを満喫。10時前に小屋に戻り、少し早めのカレーライスの昼食をいただきました。アイスクリームのサービスは児童のみならずうれしゅうございました。

11:25小屋にお礼をして、下山開始。足に痛みを覚える児童も若干名いたものの(看護師さんの同行は安心)、順調に下り、14:00広河原到着。すぐにジャンボタクシーに乗りました。15:00芦安小学校到着と同時に解散式。

無事に帰ってきたことへの感謝と児童の強さを実感した2日間でした。



がんばって、歩こう!



楽しかった! お世話になりました。



ミヤマハナシノブ

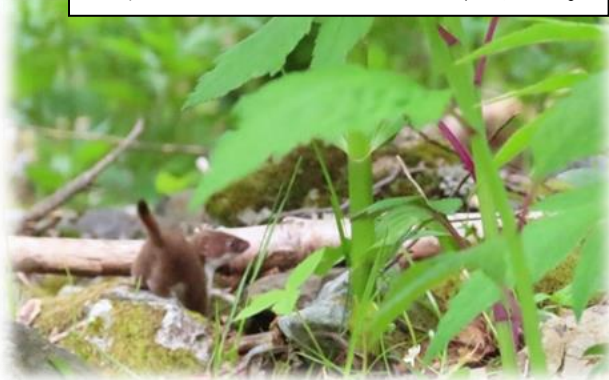


## 感想

今年の登山は、去年の登山よりも楽しかったです。一番心に残っているのは、ヘリコプターを見たことです。すごい近くでヘリコプターを見ることができて、うれしかったです。ヘリコプターで御池小屋まで食べ物を運んでいて、私たちが食べたご飯は、こんなにいろいろな人達が、関わっていることを知ることができ、感動しました。これからは、ご飯をもっと感謝して食べようと思いました。また、自然学習も楽しくて、草滑りのところで、きれいな花をたくさん見られたり、オコジョを見られたりしたのが楽しかったです。私が一番きれいだと思った花は、カラマツソウです。すごくふわふわしていで、白くてきれいだなと思いました。来年は北岳に登るので、もっと体力をつけて、ライチョウなどを見たいです。 (6年生)

私が今回一番面白いと思った学びは、花や生き物などです。草すべりには、似ていて違う花や特徴的な花が多くありました。例えば、シナノキンバイとミヤマキンバイです。ミヤマキンバイは、シナノキンバイより真ん中の色がカッコ良かったです。草すべりの花をたくさん勉強したおかげで、花カルタも楽しかったです。また、草すべりの途中、オコジョを見ました。ほうおう三山でも見ましたが、そのときは、見たときには、もう走り出していて、詳しく見ることはできなかったため、うれしかったです。学校の登山はもうないけど、個人的に登っていきこうと思います。 (6年生)

かわいい！ オコジョに会えたよ。



スゴ〜イ！ ヘリの物資輸送。



そろーり、そろーり、雪渓は滑りやすい。



二俣分岐にて、  
北岳と雪渓をバックに。





# 芦安小学校森林学習

2024年5月15日

芦安ファンクラブ 堀内 訓

芦安地域には山間地ならではの様々な伝説があります。その中でも最も有名なものに「天下の美女と謳われた虎御前と父親の仇を討った曾我兄弟」の伝説があります。

今年の森林学習では虎御前が髪を結いながら、恋人であった曾我兄弟のお兄さんの冥福を祈ったと言われていた鏡立石までを歩いての植物観察と伝説の学習を企画しました。

全校児童は配布された植物シートを片手に元気よく出発しました。

シートは行程順に写真が印刷されているので児童は植物を探しやすく、確認したら互いに教え合っ

てシートに丸をつけていました。また、植物の特徴の話にも目を輝かせながら聞いていました。



どんな花や木があるかな？

鳥の音が聞こえるね。

いつも歩いている道ばたにもこんなにも花があって、名前があるんだね。



芦安で生まれの虎御前。  
とってもきれいだったんだね。



## 感想

去年は、雨であまり見ることができなかったけど、今年は、「鏡立石」の近くまで行くことができ、うれしかったです。学校の近くにいろいろな木があるけど、名前は知らなかったの、知ることができてよかったです。またやりたいです。

(2年生)

途中で鳥の鳴き声とか、きれいな葉っぱと花とかを見ることができたのでよかったです。

1年生の時は、雨が降って中でやったので、鳥の音が聞けなかったけど、2年生は、雨も降らないで外に出られたからよかったと思いました。

(2年生)



# 芦安小学校夜叉神峠登山

2024年6月7日

芦安ファンクラブ 堀内 訓

3年生4名、4年生5名、保護者が大勢参加してくれ「夜叉神峠登山」が行われました。

今年も4年生が登山道の樹木に取り付ける樹名板を作製しました。

その一つ一つには、児童の思いが込められており、登山者の心を和ませてくれることでしょう。

皆さんも今度夜叉3神峠に行ったら是非見てください。



個性豊かな樹名板ができたよ。  
登山をしながら私たちが作った樹名板  
を見て名前を覚えてくれるといいなあ。



## 感想

夜叉神峠に登って、頂上についたとき、「がんばったなあ」と思いました。

頂上に登って、堀内さんから、「夜叉神のたたり」のお話を聞いて、その話が心に残りました。

下山するときもきつかったけど、楽しかったです。

植物や動物についてもいろいろ学ぶことができ、良かったなと思いました。

(3年生)

峠の広場でやったゲーム、お父さんやお母さんも参加して、とっても面白かったね。



参加者全員で、はいポーズ！

後ろには、私たちの頑張りに白根三山も笑顔で答えてくれているようだね。



# 芦安中学校全校登山

2024年7月8-9日 芦安中学校 教頭 深澤和博

スローガン「毅 然」

～自然を感じながら、励まし合って登りきろう～

昨年度は雨に降られ、白根御池で撤退してしまいました。本当に残念な結果で生徒達と共に大変悔しい思いをしました。しかし、今年度はみごとに北岳の頂上を自分たちの脚で踏みしめることができました。1泊2日の感動を皆様方にお伝えいたします。



さあ、登山開始だ！ 励まし合って登ろう！



さあ、アタック開始だ。  
頂上が見えてきたぞ！



小屋までもう少し。頑張るぞ。



キタダケソウはどこだ。  
自然を感じました。



肩の小屋に着いたぞ！  
笑顔ではいポーズ！



## 感想

全体的に見れば、自分の目標というか、やろうとしたことは70%ぐらい達成できたと思う。特に、楽しみにしていた高山植物は多く見つかった。また、登山途中で前を歩く仲間を励まし元気づけることができた。今後は、他の活動でも周りの仲間を元気づけられるような声掛けをしていきたい。

昨年度に比べて、今回はかなり標高が高いところに行ったので、その分天気も変わりやすくなることを改めて感じた。特に、山頂付近はわずかな時間でもすぐに曇ってしまい驚いた。夏とは言え寒さも感じたので、今後の登山では服装の調節も大切だと思った。

宿泊した北岳肩の小屋では、1日目の夕食がとてもおいしかった。豚肩コースは本当においしくて、そのおかげで2日目がんばることができた。

全体的には、以前より体力がついたなと感じることができた。ただ、登山中は常に曇っていたため周辺の景色を見ることができなくて残念だった。芦安中学校では、雨が降っていたり曇っていたりした中での全校登山だったので、今後は天気の良い中での登山を楽しみたい。

周りのみんなから声掛けに、元気づけられました。来年は、ぼく自身がみんなを元気づけられるような声掛けをしながら、登山を楽しみたいです。

昨年度同様に、今回もぼくは父と一緒に登山をしました。3,000mの北岳肩の小屋まで行くことはできたのですが、2日目の朝、体調を崩し北岳山頂へ行くことができませんでした。「父と一緒に北岳山頂に登ること」が、今後のぼくの目標です！



やったー！3193m 見事に登頂、頑張ったね。



# 第76回登山教室「語り部と歩く北岳」

2024年8月21-22日 芦安ファンクラブ 西村正人

御野立所や鷲ノ住山展望台バス停にある慰霊碑で、その歴史を語り、広河原で名取運一・ウェストン・天野久の説明を行った後、登山を開始しました。

第1ベンチ・雨乞い平などで、明治42年野尻抱影が記録した「白峰山北ヶ岳へ登る記」をもとに、昔の言い伝えや、当時の芦安の人々の暮らしや木こりの情景に思いを馳せ、そしてゆっくりとした足取りで登山をたのしみながら、白根御池小屋に到着。その後、小屋の内外で、白根御池の伝説、雨乞い、草すべりのいわれ、夜叉神にまつわる御勅使川の歴史や“のろがわばなし”などなど、宿泊客の方々も一緒になって、楽しいお話しに盛り上がりました。

夕食後、宿泊客の皆様を含めて、白根御池小屋の吉澤管理人による「小屋の歴史」のプレゼンテーションと昭和の南アルプス登山のビデオを、およそ一時間、最後までご視聴いただきました。

翌日は、二俣まで散策後下山。芦安岳館で修了証をお渡し致しました。



小屋の歴史



ハンゴンソウ



二俣



雨乞い平で、木こりの話



のろがわばなし



芦安、山の神に無事下山を報告



## 語り部登山に参加して

### 中村康信さん(京都府 我陽市)

2年越しで、語り部登山教室の参加が実現した。受講生は、私1人で、西村、堀内さん2人によるサンドイッチガイド山行である。

車で野呂川林道をたどる。夜叉神トンネルを越え、昭和天皇が野立ちされた所で、南アルプス形成の2億年の歴史、林道が完成に至るまでの経緯の説明を受ける。さらに、工事犠牲者の慰霊碑を訪ねた。

広河原の登山口からは、急な尾根道をゆっくり登る。甲斐ヶ根神社の中宮があったところで休憩した。ほどなく、雨乞い平に着く。里人の切なる願いが偲ばれた。急な登りを過ぎ、ゆったりした道を進むと白根御池小屋に着いた。

御池の水面では、思わぬ渡り鳥が縁の草をついばんで遊んでいる。スタッフの蛸原さんがカメラを持って飛び出してきた。雨が降り出したが、撮影に成功した。ツンドラからの来訪者で、“アカエリヒレアシシギ”という鳥らしい。

夕方、堀内さんの紙芝居“のろがわばなし”。夕食後、宿主の吉澤さんから山小屋の生い立ちについてスライド説明を受け、山梨県製作による南アルプスの映像を見た。水のない村の苦勞や洪水による水難との戦い、そして明治天皇からの恩賜林を管理するための小屋が山小屋のルーツであることを知る。また、御勅使川は、天皇の勅使がこの地を訪ねたことにちなむことを教わった。

翌日は、二俣までの散策で、夏の花を観察した。二俣からは、バットレスの雄姿と雪渓を見上げた。小屋に帰り、ほんの一瞬、ガスがはれて北岳の頂上を拝むことが出来た。

下山後、芦安村の山の神を訪ねた。芦安山岳館では、南アルプスに関わるさまざま人の知見を深めることが出来た。



白根御池小屋のスタッフと記念写真



# 芦安名所紹介 「虎御前の鏡立石」

## 芦安ファンクラブ 堀内 訓

春の訪れとともに、ファンクラブでは4月に毎年恒例の安通公園遊歩道整備を行いました。

ここには虎御前の「鏡立石」があります。

「鏡立石」にはこんな逸話があります。

皆さん、芦安の村中を散策してみませんか？  
通信では、これからも芦安のよいところを紹介していきたいと思っています。

芦安安通（あんつう）にある虎御前にまつわる史跡。虎御前は、曾我兄弟が父親の仇を討つ富士山麓での物語「曾我物語」に兄・十郎の恋人として登場します。伊豆大磯の長者の娘で、後に成長して街道一の美女と言われる遊女となったとされていますが、芦安地区の伝承では、相模生まれではなく南アルプス市芦安安通の生まれで、縁あって大磯にある長者の養女となったと伝えられています。

十郎の討ち死に後、虎御前は19歳で出家し、菩提をとむらうため信濃善光寺に向かいます。その際、生まれ故郷の安通村（旧芦安村）へ立ち寄り、村人から住まいを与えられ、その親切に感謝しながら追善供養を続けたといわれています。曾我氏や虎御前を祀る安通の伊豆神社近くには、虎御前が鏡を立てて化粧をしたという「虎御前の鏡立石」を今でも見ることができます。一方、芦安地区大曾利（おおぞうり）の諏訪神社には、伊豆神社から移された御神体、曾我十郎と虎御前と伝えられる2体の木像が納められています。



信州の善光寺に参る途中に芦安の立ち寄った虎御前は、この石の上に鏡を立てて、今は亡き曾我十郎のことを思いながら美しい黒髪をといだことでしょう。早春を思わせるカタクリやキブシの花が咲いていました。

## 新入会員♪ 蛭原香理さん

《白根御池小屋のカレー担当》蛭原です。

北岳山荘で初めて働いたのが11年前。増える鹿と減っていく高山植物を見てきました。

山を歩く人たちに鹿による食害について知ってもらいたい、小屋として微力ながら鹿肉の流通拡大に貢献したい。そんな気持ちから今年、御池小屋にて鹿肉のキーマカレーの提供をさせていただきます。

ルウから100%手作りのカレーは、ネパール・インド風にダールスープと混ぜながら好みの味を作るスタイルになっています。

おかげさまでなかなか好評です！  
どうぞ一度食べてみてくださいね。

